

地域・家庭と学校が連携  
コミュニティ・スクール

## 学校支援ボランティアの活動

三鷹市立第四小学校の実例をもとに。

- ・地域ぐるみで学習支援。
- ・子どもの夢を育む。
- ・NPO法人が支援する。

地域・家庭と学校が連携  
コミュニティ・スクール

### NPO法人認定（H15年11月東京都認証）

- 1．自立的な活動組織の継続性と会員確保
- 2．社会的信用度の向上と自主財源の確保
- 3．活動範囲の拡大と他団体・行政との連携

# NPO法人の申請の背景

## 1、対外的信頼性

・行政、・各種法人、・企業、

## 2、学校支援組織の有効手段

・人材(財)確保、・地域の認知、

## 3、活動資金の確保

・賛助金、助成金、事業受託権、

## 4、学校との信頼関係構築と会員の意識

・責任ある教育ボランティア

# 教育支援体制の課題

## ボランティア間の人間関係の構築

### ● 教育の現場:

「信頼・信用」できる、責任能力ある人材

課題:受け入れ体制の整備、市民参加の理解

### ● 市民の立場:

「活動したいのにどうしたらよいの」

課題:公共性、現場の現状理解、サポート意識

マッチング・・・コーディネーター

課題:活発なマッチング可能な整備体制、

コーディネーターの研修と育成

## 夢育支援ネットワーク事務局発足

- 学校側の仕事：取り纏め作業を受け継ぐ。
- 夢育支援ネットワーク事務局を学校内設置。

学校側の要望を取りまとめ。…コーディネート  
授業の科目、サポート人員、日時、  
ボランティア名簿、連絡手法の確立  
メーリングリスト

## 事務局の機能 《学校と地域の窓口》

ボランティア人材の確保・登録。

年度毎登録、参画、ボランティアへの講習  
名簿の管理(連絡手法)

ゲストティチャーの確保

ボランティア種別分類

スタディ・アドバイザー (SA)

コミュニティ・ティチャー (CT)

きらめきクラブ(課外クラブ指導者)

活動実態の広報

ホームページ

## 事務局SA担当の仕事(1)

毎週月曜、事務局5～6人（スタッフルーム）

SA登録者140人。メールリスト連絡

- ・2週間前の先生要請を受理
- ・月曜発信の週内、SAの応諾メール受付。
- ・翌週月曜日、事務局より、「決定連絡」。
- ・何年何組、何日の何時間：決定登録者名、事前打合せ日。
- ・不足、変更、再募集あり。

## 事務局SA担当の仕事(2)

- SAボランティア 継続的参画を目指して  
学校で知り得た「情報」・・・守秘義務。

先生とSAの信頼関係の構築。

毎学期末、SA懇談会

学校方針の理解 周知徹底させる。

## 事務局CT担当の仕事

- 学校の年間教育計画、授業実施時期の確認  
**総合的学習：「キャリア・アントレプレナー教育」**  
ゲストティチャー（CT） 交渉・確保（広域）  
**職場訪問先の交渉**  
**企業の社会貢献、交渉**

## 事務局（地域こどもクラブ）の仕事

- 三鷹市：放課後こども「地域こどもクラブ」事業
- 夢育支援ネットワーク：四小「地域子ども事業担当」  
「きらめきボランティア」（きらめきクラブ）  
家庭や地域の方。趣味・特技を子どもに指導  
24のクラブ活動のすべてに、地域人が。  
（スポーツ系、音楽・活花・パソコン・竹工作等）  
学校内の施設を、土日祭日、利用可能。  
地域の大人と、子どもたちとの交流の場。

## 三鷹第四小学校 学校運営協議会

- 三鷹市の教育の特徴

小・中一貫9年間のカリキュラム、義務教育を。  
コミュニティスクールを基盤として。

中学校区域単位、「学園を形成」七つの学園  
例：「連雀学園」(四小・六小・南浦小・一中)

連雀学園コミュニティ・スクール委員会・協議機関  
学園教育方針 学校教育方針。・審議。

市教育委員会に提出。

## 学校評価

- 評価とは、年度計画に基づき達成度のチェック。

- 運営協議会委員が、学校に関わり、子どもと

接触し、日ごろ先生と話し合い・交流を深める

課題を確認し、教育計画に反映させ、日

常の観察から評価が可能。 P.D.C.A

委員がどの程度、学校に関われるか差がある。

目標：数値目標も(不登校、いじめ、等発生数減少目標)

成績向上数値：グラフ化、

地域・保護者の学習支援の励みに。